人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身やご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 ESD 検体を用いた大腸腺腫および早期大腸癌におけるメチル化解析の研究（複数遺伝子のメチル化解析：便・血液（血漿）・組織）
	●研究の対象 2020 年４月１日から 2024 年 10 月３１日までに当院で ESD 治療（内視鏡切除術）を受けた、２０歳以上の大腸腫瘍の患者さんが対象となります。
	●研究の目的 この研究の目的は、ESD 治療された大腸腫瘍の患者さんのカルテデータから、腫瘍の部位、大きさ、形態、大腸癌の有無、深達度、脈管侵襲の有無の結果について検討します。また、ESD 検体（以下、「試料」といいます）を用いて ESD 検体を多数用いて正常大腸粘膜、腺腫および大腸癌部の *SDC2*、*ZNF625*、*LONRF2*、*WDR17* 遺伝子のメチル化（遺伝子の発現抑制）の程度の解析を試みます。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2029 年 3 月 31 日
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又	●研究に使用する試料・情報

は提供する試料・情報の項目≫	調査項目は個人情報を含まない以下の医学的な情報です。 情報：病歴、治療歴、カルテ番号、腫瘍の部位、大きさ、形態、大腸癌の有無、深達度、脈管侵襲の有無の結果など 試料：ESD で摘出した組織
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 浜松医科大学　内科学第一講座　教授　杉本健
≪外国にある者に対する試料・情報の提供≫	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合

	は、原則的に結果を開示いたしません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名：　医学部附属病院検査部 担当者：　岩泉　守哉 TEL：　053-435-2870 E-mail：　iwaizumi@hama-med.ac.jp